

平成28年度碧南市市民活動センター指定管理者審査委員会 会議録

※会議議題関係部分のみ記録

日 時：平成28年6月9日（木）9時30分～

場 所：へきなん福祉センターあいくる 会議室1

出席者：審査委員5名 【金原功、金子潤、鰐本義明、磯貝尚子、鈴木友喜広】

：事務局3名【山本政裕、河原睦、杉浦紗里子】

：説明者1名【市民活動センター長 大野裕史】

傍聴者：なし

会議内容

1 あいさつ

新委員紹介と委員長あいさつ

2 議題

(1) 平成27年度市民活動センター実績報告及び決算について

・大野センター長より資料にもとづき説明

委 員：収支実績の予算については、過去2年間同じか。

説明者：はい。最初にご提案させていただいたときに、基本的に予算は5年間変え
ませんということでご提示させていただいている。

委 員：一般管理費の内訳項目は、実際にあったものを抽出しているのか。

説明者：はい。本部の方で全体の会計をやっている枠組みの中で、このような費用
が発生している。

委 員：一般管理費の中に剰余金が含まれていると思うが、その留保されている部
分がどのくらいあるかというの分かるか。

説明者：愛知ネット全体では公表しているが、碧南市だけでは分けていない。

委 員：収支がぴったりなっているというのが、傍から見ると留保されている金額
があると見られる。それが2年3年経て貯まった分が、どこで何に使われ
ているのかが出てこなくなると思う。そこがこの表だと分かり難いと思う
が、一般的にこのような書き方になるのか。

説明者：愛知県とNPOとの取り決めで、収支の書き方の指定があったため、それに則って書いている。碧南市のセンターだけでどれだけ剰余金が出ているのかは我々も分からない。

委員：収支実績の、予算と実績がかなりかけ離れているところがあるが、そこがよく分からない。これから精度を高めていくのか。

説明者：指定管理する前に枠組みで作ったものが5年間の予算になっている。実際に運営していくにあたり、コストダウンを進めていくうちに乖離している部分もある。そこでしわ寄せがきている。合計金額の1,800万円は変更ないが、内訳は変える必要があると考えている。今年度変えていく予定。支出のその他については、当初想定できなかったため0円にしていたが、今後変えていきたい。

委員：もう少し実績を積むなかで、精度をある程度あげて行って、目標値（予算）にむかって近づいていけるとよい。

説明者：分かりました。枠組みの修正をしていきたい。

委員：活動が多く、活性化されているのはよく分かる。参加される方はだいたい同じ方か。新しい団体を集めるためにどのようにPRしているのか。

説明者：フェイスブックなどのホームページ、2ヶ月に1度広報の見開きページでの告知や、以前行った講座に参加された方への告知、またはチラシを市内の公共施設に置いてもらっている。人集めには苦勞しているため、人が足りないときは施設によく来られる方に電話している。基本的に新しい人を探していくという努力はしている。

委員：データベースで評価をして、活動を前向きに行っているのはよいことであるし、見る側としても分かりやすい。スタッフ専用のホームページで各自の業務が管理できているのはいいことだが、書くことが目的でそれに時間をとられていることはないか。

説明者：慣れ不慣れがあるため、しっかり書く職員、そうでない職員といるが、それでいいと思っている。1人10～20分くらいでリストを書いているため、1日の業務の中ではあまり時間をかけていない。

(2) 平成28年度市民活動センター実績報告及び予算について

- ・大野センター長より資料にもとづき説明。予算については、指導してもらいながら内訳の変更を行っていく。

- ・委員からは意見なし。

3 その他

特になし